


報道発表資料の配付日時 10月 4日 (水) 18時30分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (疑い事例 美唄市) について	
概要	<p>○ 10月4日に美唄市内で回収された死亡野鳥 (ハシブトガラス) 1羽について、環境省から、同日に同省が実施した簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された旨、連絡がありました。</p> <p>○ 今後、環境省が国立環境研究所に依頼して、高病原性の検査を実施します (検査結果の判明まで1週間程度かかる見込み)。 また、同省は、回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>【野生動物対策課 野鳥の高病原性鳥インフルエンザ情報ページ】 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html</a></p>  <p>〈今後の対応〉</p> <p>(1) 野鳥監視重点区域において、引き続き野鳥の大量死の有無について監視を強化します。なお、現時点で管内において、野鳥の大量死等の異常を認める報告はありません。</p> <p>(2) 回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。また、現時点で管内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 管内の家きん飼養農場等に対し、農場入口や鶏舎周囲の定期的な消毒、防鳥ネットなどの野鳥や野生動物の侵入防止対策、異常家きん発見時の早期通報の徹底などについて、引き続き指導するとともに、空知総合振興局海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>※別添資料 R5シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況</p>	
参考	<p>○ 現時点では、<u>A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階</u>であり、病原性は未確定です (高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません)。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。</p>	
報道 (取材) に当たってのお願い	<p>○ 死亡している、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p>	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	環境省、北海道 (野生動物対策課、畜産振興課)
担当 (連絡先)	<p>・北海道空知総合振興局保健環境部環境生活課 (担当者: 角谷・齊藤) TEL: 0126-20-0160 公用スマホ 011-585-6104 内線 49661</p> <p>・北海道空知総合振興局産業振興部農務課 (担当者: 野上) TEL: 0126-20-0166 公用スマホ 011-585-6103 内線 32926</p>	

令和5年（2023年）10月4日 18 時30分現在

令和5年（2023年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

<令和5年（2023年）9月～令和6年（2024年）8月>

本件	野鳥 ○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
●	疑い	10/4	空知	美唄市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	今後、検査	